

山形中央	0	0	0	0	0	1	1	0	0		2
鶴岡東	1	0	2	0	0	0	0	0	X		3

鶴岡東がV

高校野球山形大会 3年ぶり7度目



発行所
山形新聞社
 〒990-8550
 山形市旅籠町2-5-12
 総合案内 023(622)5271
 読者センター 023(622)5666
 (平日9時30分～17時30分)
 (c)山形新聞社2022

2022年
 7月25日
 <月曜日>

速電
報版
子



特別号外

■やまがた
 ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp/mobile/



詳しくは山形新聞を
 ご覧ください。



優勝を決め歓喜する鶴岡東の選手たち
 〓中山町の荘銀・日新スタジアム

山形中央を下す

第104回全国高校野球選手権山形大会は最終日の25日、中山町の荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがた(荘銀・日新スタジアム)で決勝が行われ、鶴岡東が山形中央を3-2で下し、3年ぶり7度目の優勝を果たした。

両校が決勝で激突するのは2019年の第101回大会以来となった。鶴岡東は甲子園で8月6日に開幕する本大会に出場する。

鶴岡東は初回到1点を先制。三回には3番古賀亮祐の適時打をはじめ、連続安打で好機を広げて追加点を奪った。先発小林廉は相手の的を絞らせず、失点を許したものの試合のリズムをつくった。終盤に1点差に詰め寄せられたが継投策でしのぎ、逃げ切った。山中央は七回に2死満塁のピンチを切り抜けるなど、最後まで粘り強く戦ったが及ばなかった。

購読・試読のお申し込みはフリーダイヤル 0120-81-8040